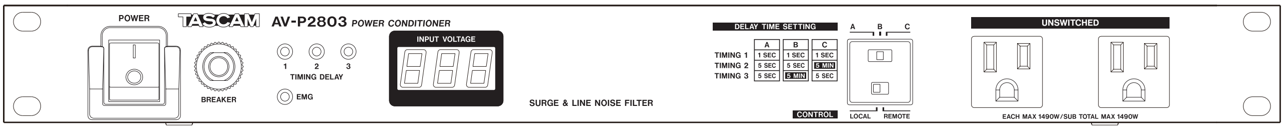
TASCAM

D01264101A

AV-P2803

Power Conditioner

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出た、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落とした、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して設置する **ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける** 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
注意	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

目次

安全にお使いいただくために 2

第1章　はじめに..5

本機の概要..5
本製品の構成..5
本書の表記..5
商標に関して..5
設置上の注意..6
電源について..6
結露について..6
製品のお手入れ..6
ユーザー登録について 6
アフターサービス 6

第2章　各部の名称と働き 7

フロントパネル..7
リアパネル..7

第3章　ご使用方法..8

接続する..8
AC電源（コンセント）への接続..8
電源の極性について..8
連動コンセントのタイミングについて..8
コントロール端子について 9

第4章　動作と接続例..10

接続例 10
タイミングチャート 12
動作1のタイミングチャート 12
動作2のタイミングチャート 13

第5章　仕様 14

一般 14
寸法図 14

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM Power Conditioner AV-P2803をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 電源部にサージノイズフィルター、ラインノイズフィルターを内蔵し、外部ノイズをカットしたクリーンな電源を供給
- フロントパネルにUNSWITCHED電源コンセント（3Pタイプ x2）
- リアパネルにSWITCHED電源コンセント（3Pタイプ x6）とUNSWITCHD電源コンセント（3Pタイプ x2）
- 遅延連動機能を使って、電源を遅らせて供給することが可能です。アンプなどを他の機器と同時にオン／オフした場合にスピーカーからのノイズ発生を防止します
- 本機の電源を外部のスイッチでオン／オフすることが可能
- 電源オン遅延時間の設定が可能
- 本機を10台まで接続し、各機に接続した機器の電源を連動してオン／オフすることが可能
- 非常放送の伝達を妨げないようにするために、非常放送時に連動コンセントからの電源を切ることが可能
- 15Aの復帰用スイッチ付きサーキットブレーカー
- ノイズ低減のための電源極性チェック機能
- 7セグメント3桁の入力電圧表示
- ラックマウント可能な1Uサイズ

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカム カスタマーサポート（巻末に記載）までご連絡ください。

- 本体　x1
- ラックマウント取り付け用ビスキット　x1
- 3P-2P変換アダプター　x1
- 取扱説明書（本書、保証書付き）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**スイッチ」のように太字で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

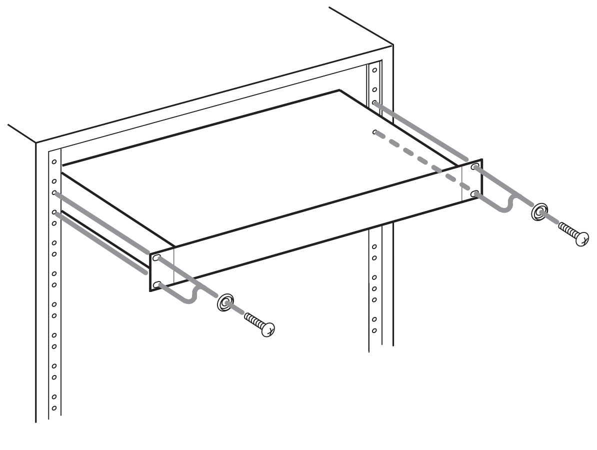
- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

第1章　はじめに

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所
- 本機に接続できる機器は、消費電力の合計が1490Wまでです。許容範囲を超える機器を接続しないでください。故障や火災などのおそれがあり大変危険です。
- 電気ストーブや電熱器など、大電力を消費する機器を接続しないでください。
- 本機の電源プラグは、必ずAC100V（50-60Hz）の壁面コンセントに直接接続してください。延長ケーブルなどを使わないでください。
- 電源コードは無理に曲げたり、束ねたりしないでください。発熱することがあります。
- 本機に強い衝撃を加えないでください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウント取り付け用ビスキットを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に1U以上のスペースを空けてください。



電源について

- AC100V（50-60Hz）以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

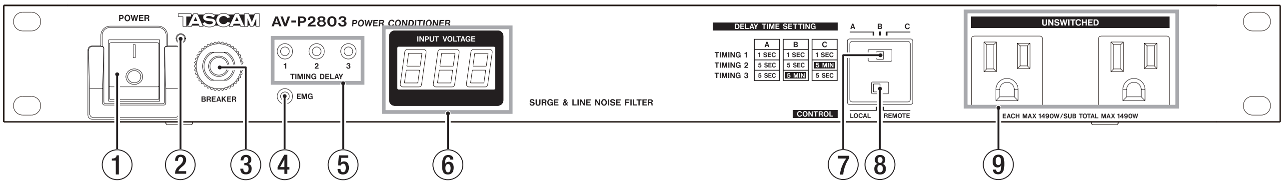
TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

http://tascam.jp/support/registration/

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター（巻末に記載）が無料修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番（AV-P2803）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル



① **POWERボタン**
電源をオン／オフします。

注意
電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

② **POWERインジケーター**
本体リアパネルの電源プラグをコンセントに差し込むと赤色に点灯し、電源スイッチをオンにすると緑色に点灯します。

③ **BREAKER（サーキットブレーカー）**
本機に過電流が流れたときに作動し、ボタン部分が飛び出します。作動したときは過電流の原因を取り除き、ボタンを押してリセットしてください。

④ **EMERGENCYインジケーター**
非常放送用（EMG）信号を受信したとき、インジケーターが赤色に点灯します。
非常放送用（EMG）信号が解除されると、インジケーターは消灯します。

⑤ **TIMING DELAYインジケーター**
POWERスイッチをオンにすると、1 → 2 → 3の順にインジケーターが点灯します。
リアパネルのSWITCHED電源コンセント（TIMING 1 → 2 → 3）に電源が供給されたことを表します。（→ 8ページ「連動コンセントのタイミングについて」）

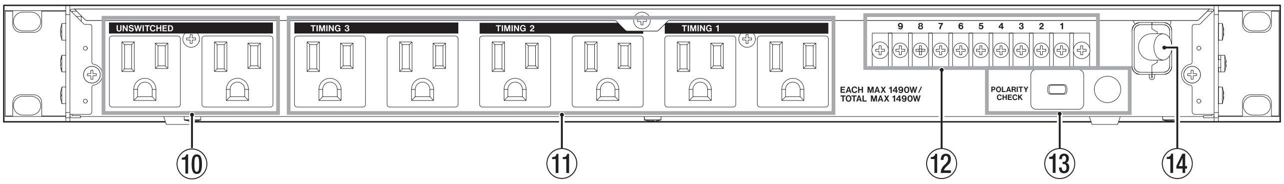
⑥ **INPUT VOLTAGE表示（入力電圧表示）**
AC入力電圧値を表示します。供給される電圧の異常を常時確認することができます。

⑦ **DELAY TIME SETTINGスイッチ**
SWITCHED電源コンセントのTIMING 2とTIMING 3の電源オンの遅延時間を設定します。（→ 8ページ「連動コンセントのタイミングについて」）

⑧ **CONTROLスイッチ**
本機を単体または親機として使用するときに、「LOACAL」にします。
子機として使用するときは「REMOTE」にしますが、その場合は親機の電源を入れないと電源が入りません。

⑨ **UNSWITCHED電源コンセント**
POWERスイッチのオン／オフに関係なく、常に供給されます。タイマー内蔵機器や常時通電が必要な機器は、このコンセントに接続してください。

リアパネル



⑩ **UNSWITCHED電源コンセント**
POWERスイッチのオン／オフに関係なく、常に供給されます。タイマー内蔵機器や常時通電が必要な機器は、このコンセントに接続してください。

⑪ **SWITCHED電源コンセント**
POWERスイッチオン後、TIMING 1 → 2 → 3の順に電源が供給されます。オフにするとTIMING 3 → 2 → 1の順に電源が切れます。
非常放送用（EMG）信号を受信したときはTIMING 3 → 2 → 1の順に電源が切れ、非常放送用（EMG）信号が解除されるとTIMING 1 → 2 → 3の順に電源が入ります。（→ 8ページ「連動コンセントのタイミングについて」）

⑫ **コントロール端子**
外部とのコントロール信号の送受信に使います。
出荷時は、5番と6番端子にショート金具を取り付けています。
通常は、ショート金具を取り外さないでご使用ください。
外した場合は、SWITCHED電源コンセントに電源が供給されません。

⑬ **POLARITY CHECK端子**
電源プラグに3P-2P変換アダプターを使用してAC電源（コンセント）に挿入したとき、アースに正しく接続されているか、確認できます。
電源プラグをAC電源（コンセント）に接続後、POLARITY CHECK端子に触れたとき、正しくアースが接続されてない（逆側に挿入されている）場合は、POLARITY CHECKネオン管が点灯します。

⑭ **電源プラグ**
AC100V（50-60Hz）の壁面コンセントに直接接続してください。
本機のプラグは、アース対応になっています。

第3章　ご使用方法

接続する

AC電源（コンセント）への接続

接続する際には、全ての機器の電源スイッチをオフにしてください。

1. 本機の電源プラグを壁面コンセントに接続します。
2. リアパネルにある**POLARITY CHECK**端子にのみ触れ、その隣にある**POLARITY CHECK**ネオン管が点灯するか確認します。
3. **POLARITY CHECK**ネオン管が点灯する場合は、本機の電源プラグの端子を逆にして壁面コンセントに接続し直します。
4. 再度、リアパネルにある**POLARITY CHECK**端子に触れ、その隣にある**POLARITY CHECK**ネオン管が点灯しないことを確認します。
5. ミキサー、マルチトラックレコーダーなどの機器を本機の電源コンセントに接続します。
6. タイマー内蔵機器や常時通電が必要な機器は、フロントパネルの**UNSWITCHED**電源コンセントに接続します。

注意

POLARITY CHECK時には、本体のシャーシ部には触れないようにしてください。
正しい極性を検出できない場合があります。

メモ

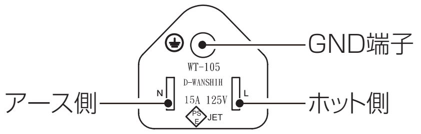
- 本機の電源コンセントが供給できる最大消費電力は1490Wです。接続する装置の消費電力の合計が1490Wを超えないようにしてください。
火災の原因となります。
- 電気ストーブや電熱器などの電力消費量が大きい機器は接続しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。

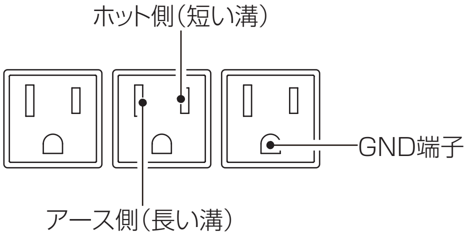
ヒント

本機の接続において、**SWITCHED TIMING 3**のコンセントに接続すると、電源オン／オフ時のクリックが目立たなくなります。

電源の極性について

本機の電源プラグは3Pタイプで、電源の入口から出口まで極性が管理されています。
電源コンセントは、溝の長い方がアース側です。
極性を有する機器を接続する場合は、極性を合わせてください。



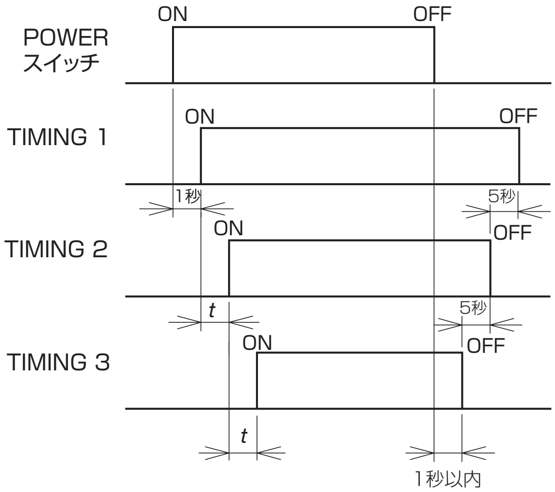


連動コンセントのタイミングについて

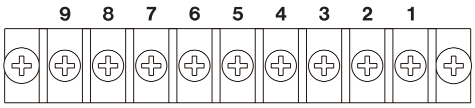
SWITCHED電源コンセントは、フロントパネルの**DELAY TIME SETTING**スイッチの設定により、**TIMING 2**と**TIMING 3**の電源オンのタイミングが異なります。

DELAY TIME SETTING スイッチ	**A**	**B**	**C**
POWERオン → TIMING 1 オン	1秒	1秒	1秒
TIMING 1 オン → TIMING 2 オン	5秒	5秒	5分
TIMING 3 オン → TIMING 3 オン	5秒	5分	5秒

下図のタイミングで電源を出力します。
（図中t = 5秒または5分）



コントロール端子について



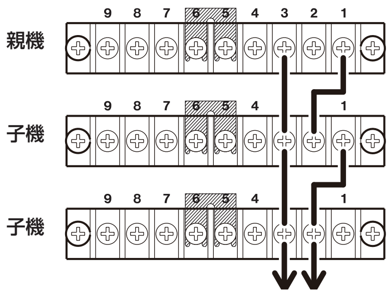
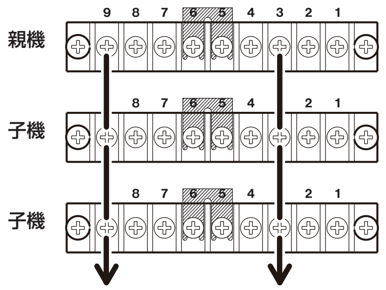
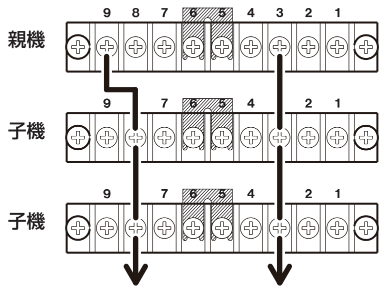
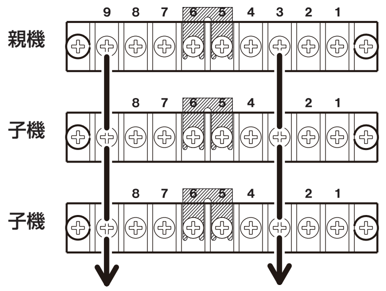
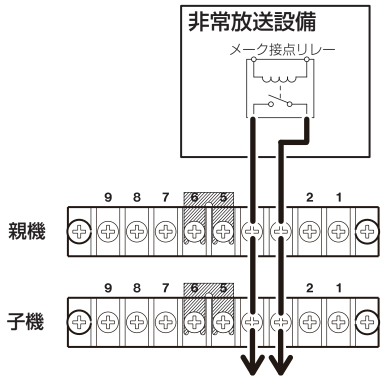
<table>
<tr><th>端子番号</th><th>用途</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>出力</td><td>TIMING 3と同時に出力します。（アクティブハイ）</td></tr>
<tr><td>2</td><td>入力</td><td>子機として使うときに親機の1番端子からの信号を入力します。入力されるとタイミング動作を始めます。（アクティブハイ）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>コモン</td><td>1、2番端子を使用するときのコモン端子です。内部回路のGNDに接続されています。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>非常放送
信号入力1</td><td>非常放送設備との接続に使います。
非常放送の信号が入るとSWITCHED電源コンセントの電源が切れます。</td></tr>
<tr><td>5</td><td rowspan="2">非常放送
信号入力2</td><td rowspan="2">非常放送設備との接続に使います。
オープンにするとSWITCHED電源コンセントの電源が切れます。
通常は、ショート金具を取り付けてショートしておいてください。</td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>外部
スイッチ</td><td>外部スイッチで本機の電源をオン／オフするときに使います。9番端子とショートすると本機の電源が入ります。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>増設用外部
スイッチ1</td><td>親機との接続にて、親機の電源がオンのとき、本機の電源を単独でオン／オフできます。
親機がオフのときは、本機もオフとなります。親機との遅延はありません。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>増設用外部
スイッチ2</td><td>親機や他の子機との接続にて、ここに接続したいずれの機器からのスイッチでも、全機の電源のオン／オフを行うことができます。
親機との遅延はありません。</td></tr>
</table>

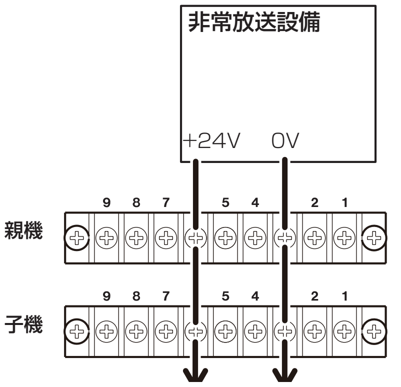
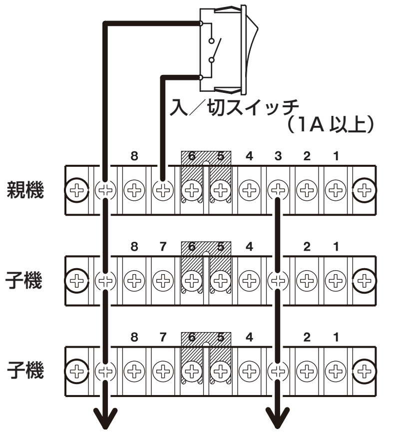
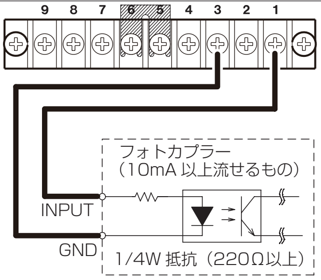
接続例については、10ページ「第4章　動作と接続例」をご参照ください。

注意

取扱説明書の設定以外の接続および設定にした場合は、指定動作と違う動作することがありますので、指定通りの設定でご使用ください。

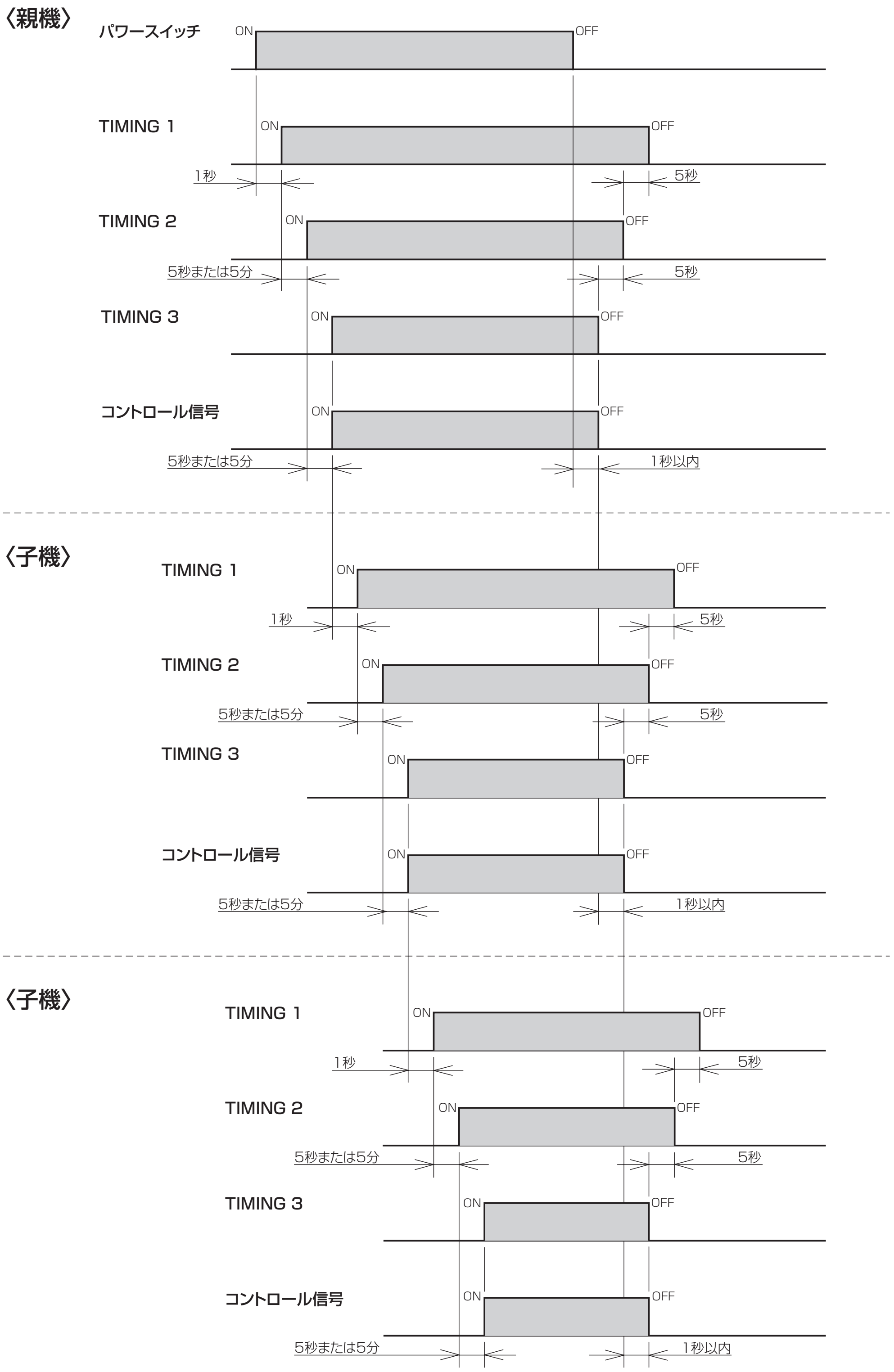
接続例

	動作	接続例	CONTROLスイッチの設定		ショート金具
1	**親機・子機連動（親子間遅延あり）** 親機のPOWERスイッチをオン／オフすると、親機がタイミング動作したあとに、子機がタイミング動作します。 子機のPOWERスイッチは、働きません。 動作タイミングについては、12ページ「動作1のタイミングチャート」をご参照ください。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
2	**親機・子機連動（親子間遅延なし）** 親機のPOWERスイッチをオン／オフすると、子機も連動してオン／オフします。 子機のPOWERスイッチは、働きません。 動作1との違いは、親機のPOWERスイッチをオン／オフすると、同時に子機がオン／オフすることです。 各機は、タイミング動作します。 動作タイミングについては、13ページ「動作2のタイミングチャート」をご参照ください。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
3	**親機ON時のみ子機は単独でオン／オフ可** 親機のPOWERスイッチがオンのとき、子機は単独でオン／オフできます。 親機のPOWERスイッチがオフのとき、子機の電源は入りません（子機のPOWERスイッチに関係なく）。 各機は、タイミング動作します。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
4	**どの機でも全機のオン／オフが可能** 全機のPOWERスイッチがオフの状態で、どれか1台のPOWERスイッチをオン／オフすると、他の機器も全てオン／オフします。 各機は、タイミング動作します。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
5	**非常放送時に連動コンセントを切る（1）** 非常放送の伝達を妨げないようにするために、非常放送設備からのコントロール信号が切れると、SWITCHED電源コンセントの電源がTIMING 3 → 2 → 1の順に切れます。 **注意** • 本機を非常放送設備の一部にはできません（非常放送設備からの信号で本機をコントロールすることは可能です）。 • 動作1、2、3と併用する場合は、非常放送設備は親機に接続してください。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける

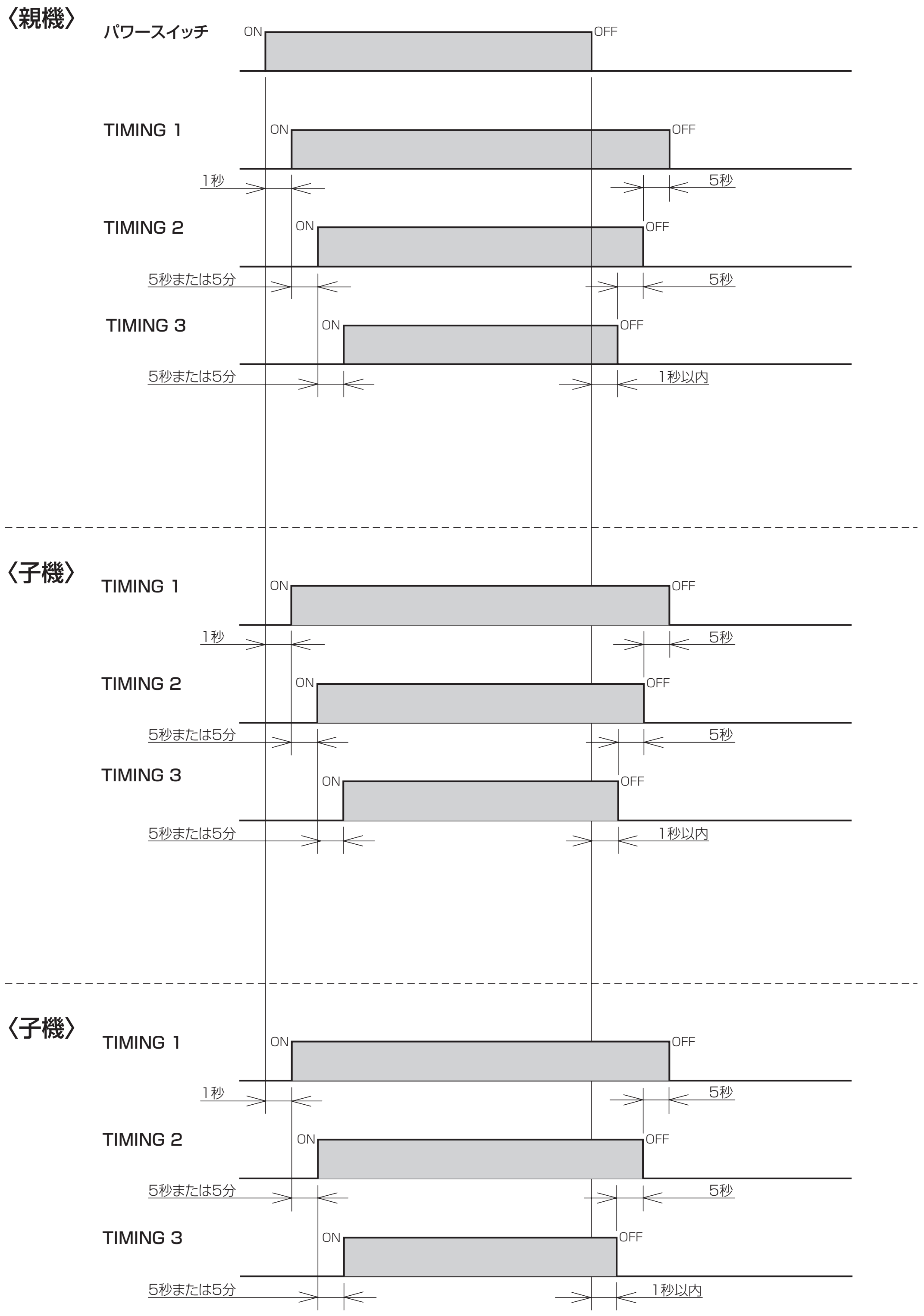
	動作	接続例	CONTROLスイッチの設定		ショート金具
6	**非常放送時に連動コンセントを切る（2）**		**親機**		取り外す
			子機		取り外す
7	**外部スイッチでオン／オフする** 入／切スイッチ（1A以上）で本機をオン／オフできます。 POWERスイッチは、無効になります。 本機を右図のように複数台並列に接続して、接続した全ての電源を一括してオン／オフすることもできます。 各機は、タイミング動作します。		**親機**		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
8	**外部から動作を監視する** フォトカプラーを駆動できます（リレーは、駆動できません）。	 **入力回路例**	**親機**		5端子と6端子に取り付ける

タイミングチャート

動作1のタイミングチャート



動作2のタイミングチャート



第5章　仕様

一般

電源

AC100V、50-60Hz

最大定格電力

14.9A（1490W）

電源コンセント

SWITCHED　：
　リアパネル　3P x6
UNSWITCHED：
　フロントパネル　3P x2
　リアパネル　3P x2

フィルター

サージノイズフィルター
ラインノイズフィルター

減衰量

ノーマルモード：−6dB/10kHz、−23dB/100kHz
コモンモード　：−11dB/10kHz、−30dB/100kHz

極性チェッカー

ネオンランプ表示

サーキットブレーカー

15A

電源ON遅延時間

POWER ON → TIMING 1 ON ：1秒
TIMING 1 ON → TIMING 2 ON ：5秒または5分
TIMING 2 ON → TIMING 3 ON ：5秒または5分

電源OFF遅延時間

POWER OFF → TIMING 3 OFF：1秒以内
TIMING 3 OFF → TIMING 2 OFF：5秒
TIMING 2 OFF → TIMING 1 OFF：5秒

CONTROL端子

定格入力電圧　：5 ～ 24V
定格入力電流　：16 ～ 25mA
出力電圧　：10 ～ 12V

電源コード

3P電源コード

消費電力

4.3W

待機時消費電力

0.3W

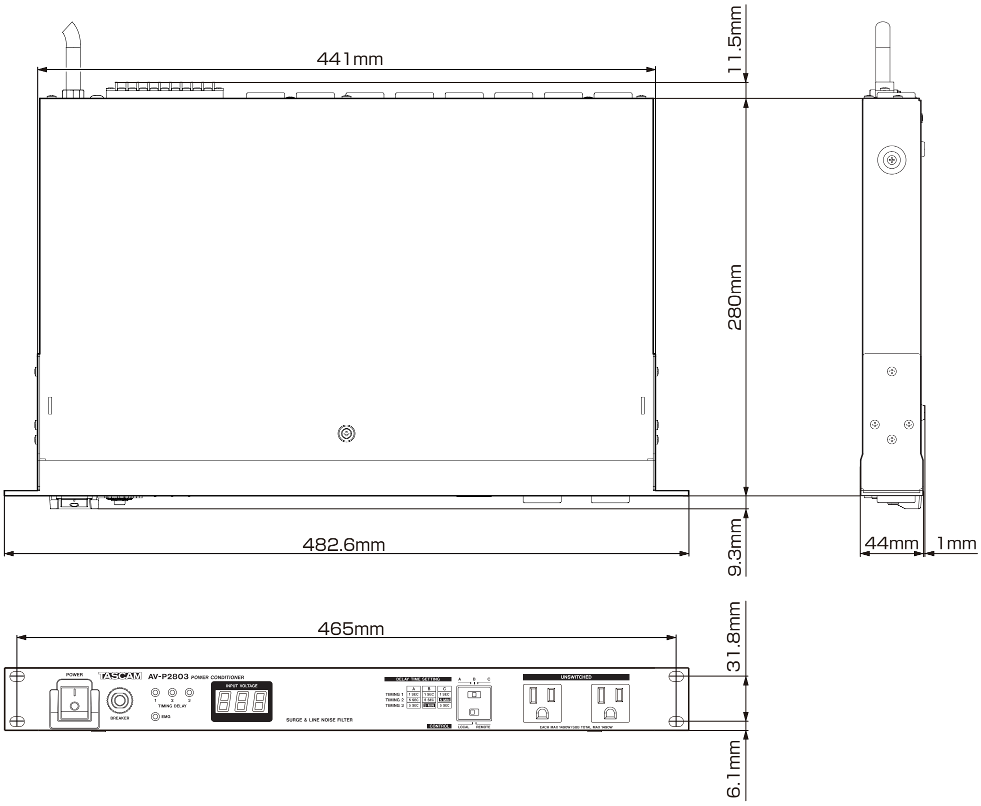
外形寸法

482.6 x 45 x 301.5mm（幅×高さ×奥行き、突起を含む）

重量

4.0kg

寸法図



● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

● 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
（1）ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（2）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
（4）接続している他の機器に起因する故障および損傷
（5）業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
（6）メンテナンス
（7）本書の提示がない場合
（8）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社　〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00 です。（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30〜17:00です。（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

保証書

見本

品　名 および 形　名	AV-P2803	
機　番		
保証期間	本　体	1年

お買い上げ日	年　月　日	
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センター、またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	電話　（　　）